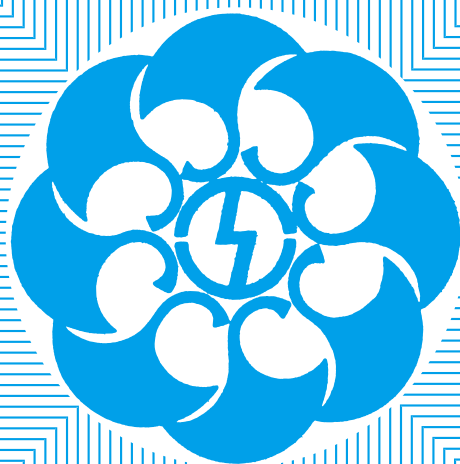


会 報



一般社団法人
神奈川県空調衛生工業会

第138号

〔重要文化財 氷川丸〕

氷川丸は、1930年にシアトル航路用に建造された貨客船です。戦前の日本で建造された貴重な産業遺産として重要文化財に指定されています。



写真提供：公益財団法人 横浜市建築保全公社 理事長 二宮 智美氏

横浜港客船フォトコンテストでの特選をはじめ、港区観光フォトコンテスト、DanceDanceDance@YOKOHAMA フォトコンテストなど多数受賞されています。

目 次

新年のごあいさつ	会 長 有井 清.....	1
新年のごあいさつ	神奈川県知事 黒岩 祐治.....	2
新年のごあいさつ	横 浜 市 長 林 文子.....	3
新年のごあいさつ	川 崎 市 長 福田 紀彦.....	4
新年のごあいさつ	相 模 原 市 長 本村賢太郎.....	5
SDGs の概要、取組み		6
令和2年度技術研修見学会開催	技術委員会	13
令和2年度研修会開催	研修委員会	13
横浜市公共建築工事安全パトロール	安全委員会	14
神奈川県震災対策訓練	安全委員会	16
令和3年度安全スローガン選定結果		16
定例理事会議事報告（7月・9月・10月・11月・12月）		17
親睦会報告		17
藤沢工科高等学校施設見学会		18
令和2年度横浜市優良工事表彰式		20
（公財）横浜市建築保全公社令和2年度優良工事施工者表彰式		20
神奈川県住宅営繕事務所 令和2年度優良工事等所長礼状の贈呈		21
神空衛のパンフレット紹介		21
新会員紹介		21
会員にかかわるお知らせ		21
今後の行事予定／令和三年 年始会について／編集後記		



新年のごあいさつ

会 長 有 井 清

新年おめでとうございます。

新しい年が会員の皆様をはじめ多くの方々にとって明るく希望に満ちた年となりますよう、また、一日も早く平穏な日常を取り戻すことが出来ますようお願いしております。

昨年は新型コロナウイルス禍により、業界団体としての活動が大きく制限されました。会員の皆様におかれましても、緊急事態宣言下で現場での施工を一時ストップされたり、従業員様をはじめとする関係各位の感染防止対策に取り組まれるなど、大変なご苦労をなさっておられるものと存じます。そのような状況におきましても、皆様には当工業会に対してご支援・ご協力を賜りましたことに、改めてあつく御礼を申し上げます。ありがとうございました。

さて、2005年より当工業会の顧問をお務めいただいております菅義偉先生が昨年9月に第99代内閣総理大臣に就任なされ、10月に「2050年までに二酸化炭素ネット排出量ゼロ(カーボンニュートラル)を目指す」との政策目標を発表されました。グリーン社会の実現のために温室効果ガスの排出を全体としてゼロとし、脱炭素社会に向けてイノベーションとデジタル化を推進するという内容です。これは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)

に連携した目標で、わが国が世界の一員として果たしていかなければならない責任のひとつであります。また、菅総理は12月にオンラインで開催された気候野心サミットに「日本は2030年に向けた新たな目標をCOP26(2021年11月開催予定)までに国連に提出する」とのメッセージを寄せられ、現在の温室効果ガス排出削減目標(2013年度比26%減)を超えるものとなるのは必至で、国内の全産業に更なる温室効果ガス排出削減の努力が求められます。

当工業会は2009年に『神奈川発!!地球にいいこと、ひとつずつ』の環境スローガンを掲げました。このスローガンのもと、低炭素社会の実現と環境負荷の低減、更にSDGsの達成に寄与するために、引き続き地元自治体と共にフロンガスの排出抑制を進めて参ります。また、今日に至るまでに培ってきた技術力を活かすことはもちろん、関係行政機関が取り組まれている防災活動や減災対策にも積極的且つ継続的に協力し、「社会に貢献する企業集団」「地域に求められる業界団体」を目指して努力を続けて参る所存でございます。本年も当工業会の活動・運営に引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



謹 賀 新 年

令和3年 元旦

会 長 有 井 清	株 式 会 社 ヨ コ レ イ	理 事 後 藤 守 利	カ ナ レ イ 株 式 会 社
副 会 長 阿 部 哲 也	高 砂 熱 学 工 業 株 式 会 社	〃 島 謙	新 菱 冷 熱 工 業 株 式 会 社
副 会 長 築 地 正 明	株 式 会 社 光 電 社	〃 横 山 順 二	エ ル ゴ テ ッ ク 株 式 会 社
副 会 長 三 澤 隆	三 沢 電 機 株 式 会 社	〃 小 澤 信	株 式 会 社 朝 日 工 業 社
理 事 相 談 役 川 本 守 彦	川 本 工 業 株 式 会 社	〃 小 堀 段	興 和 工 業 株 式 会 社
専 務 理 事 鈴 野 和 重	(一 社) 神 奈 川 県 空 調 衛 生 工 業 会	〃 五 十 嵐 孝 之	三 機 工 業 株 式 会 社
理 事 雨 宮 朋 之	須 賀 工 業 株 式 会 社	監 事 辻 村 淳 一	興 信 工 業 株 式 会 社
〃 池 野 直 規	ダ イ ダ ン 株 式 会 社	〃 菊 地 達 郎	文 化 興 業 株 式 会 社
〃 小 松 信 幸	株 式 会 社 小 松 工 業	〃 奥 津 勉	奥 津 勉 事 務 所
〃 小 林 範 雄	東 洋 熱 工 業 株 式 会 社	相 談 役 大 須 賀 洋	株 式 会 社 光 電 社
〃 東 軒 秀 和	熱 研 プ ラ ン ト 工 業 株 式 会 社	〃 五 十 嵐 一 喜	
〃 朝 倉 保 幸	株 式 会 社 ア ク ト エ ン ジ ニ ア リ ン グ		



新年のごあいさつ

神奈川県知事 黒岩 祐治

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスとの闘いが続く中、異例づくしの新年となりました。例年のようなお正月らしいお祝いができなくなってしまった方も大勢いらっしゃることでしょう。中でも、年末年始も関係なく、コロナ治療の最前線で闘い続けてくださっている医療関係者の皆さんに、改めて心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

感染拡大防止のため、県民の皆様にはさまざまなお願いをしてきましたが、ご協力いただきできたことにお礼を申し上げます。残念ながら、未だ収束のメドが立たない状況ではありますが、ワクチン開発や特效薬のニュースも散見されるようになりました。希望を持って、この難局を乗り越えていきたいと思っています。

さて、今年は、昨年延期が決まった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が本番を迎えます。神奈川県ではセーリング、野球・ソフトボール、サッカー、自転車のロードレースが開かれます。開催の夏には、コロナ禍が収束していると信じて、皆さんと心をつなげて、世界中が注目するような素晴らしい大会に盛り上げていきましょう。昨年11月には横浜スタジアムに収容人数の86%ものお客さまに入っていただき、最新技

術を駆使して密を避けるという技術実証も行いました。オリパラ成功への貴重な一步を踏み出せたと思います。

また、コロナ禍で私たちの生活は一変しましたが、マイナス面ばかりではありません。これまでなかなか進まなかった“改革”が一気に前進した側面もたくさんありました。神奈川県は全国一、通勤時間の長い都道府県でしたが、今や、リモートワークは当たり前の時代になりました。働く（WORK）と余暇（VACATION）が一体となったワーケーションなども、普及してきています。以前からアピールしてきた「ちょこっと田舎、オシャレな神奈川ライフ」という移住促進策も、三浦半島や県西地域などで具体の成果につながり始めています。

昨年10月、神奈川県の新型コロナウイルスへの対応は先進的な取り組みであるとして、第8回プラチナ大賞を受賞しました。県庁職員が一丸となり、議会や市町村の皆様と一体となって取り組んできたことが第三者から高く評価されてたいへん嬉しく思っています。この賞に恥じないよう、今年もウィズコロナ、アフターコロナの時代を神奈川から切り拓いていくことをお誓いし、新年のあいさつとさせていただきます。



新年のごあいさつ

令和3年の年頭にあって

横浜市長 林 文子

あけましておめでとうございます。皆様が新しい年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

今年は、ウィズコロナ社会における安全・安心な暮らしと横浜の将来にわたる成長のため、市民、事業者の皆様と力を合わせて、力強く歩みを進めていく一年です。

世界で感染が拡大する新型コロナウイルスも、近い将来、必ず収束します。冷静に未来を見定め、立ち止まることなく、成長し続ける横浜を目指して前進してまいります。

みなとみらい21地区では、今春の神奈川大学新キャンパスのオープン、桜木町駅前と新港ふ頭を結ぶロープウェイの運行開始など、さらなる賑わいが生まれます。5年目を迎える「ガーデンネックレス横浜」を春と秋に開催し、花と緑に親しむ機運を2027年の国際園芸博覧会へとつなげ、夏に向けて、「東京2020 オリンピック・パラリンピック」やダンスの祭典「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021(仮称)」の準備も進めています。

また、今まで以上に来街者の皆様に賑わう魅力的な街を目指し、関内・関外地区のまちづくりや誰もが「住みたい」「住み続けたい」と思える郊外部の実現にも力を入れていきます。

アフターコロナを見据え、将来の経済成長を支える国家的プロジェクトであるIR（統合型リゾート）の実現に向けた取組や新たな劇場整備

の検討を進め、世界中の人々を惹きつける魅力あふれる都市づくりと横浜の持続的な発展への道筋をつけていきます。

横浜市はこれまでも、市民の皆様の命と暮らしをお守りするため、感染症対策の強化と経済再生の両立に最優先で取り組んできました。今後も、新型コロナウイルス感染症の陽性患者の入院調整を行う専門チーム「Y-CERT」や、医師・看護師による疫学調査チーム「Y-AEIT」をはじめ、横浜市の総力を挙げて、急激な感染拡大を抑え、医療崩壊を防ぎます。

令和3年度予算編成は厳しい状況ですが、社会経済状況をしっかりと見極め、政策の選択と集中により、進むべき未来に向けて、課題を乗り越えなくてはなりません。市内中小企業・商店街へのご支援、新たな成長の原動力となるデジタル化や脱炭素化、スタートアップ企業へのご支援に取り組み、「グローバル拠点都市」として横浜経済の再生に力を尽くします。中学校給食の開始をはじめ、子育て、教育、福祉、多文化共生や防災・減災など、市民の皆様に寄り添った施策をさらに充実させます。私たちの心を豊かにし、明日を生きる活力を与えてくれる文化芸術活動も、しっかりとお支えしていきます。

今年も皆様とともに手を携え、お一人おひとりの健やかな暮らしと横浜の未来のため、全力で市政に臨む決意です。どうぞよろしくお願いいたします。



新年のごあいさつ

川崎市長 福田 紀彦

新年、あけましておめでとうございます。

今年一年、皆様が健康かつ平穏に良い年をお過ごしになりますようお祈りいたします。

昨年、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、私たちの暮らしは一変しました。本市におきましても、市民や事業者、医療関係者の方々をはじめ、地域の皆様に御協力いただきながら、感染症の流行に全力で対応するとともに、厳しい生活を強いられる市民や事業者の皆様への支援などを実施してきました。今後も引き続き、皆様が安全・安心な生活を送れるよう、万全を期していきます。

また、新しい生活様式をふまえ、行政手続のオンライン化に積極的に取り組むとともに、市立小中学校等の児童生徒に一人一台の端末を整備するなど、「かわさきGIGAスクール構想」の実現に向けた取組を進めます。

本市の最重要施策である、地域包括ケアシステムの構築につきましては、年齢や疾病、障害等で対象を限定しない、全世代・全対象型の地域リハビリテーション体制の構築に力を入れて取り組んでいきます。間もなく供用を開始する「川崎市複合福祉センター ふくふく」を中心に、医療や介護が必要となっても、地域で暮らし続けることができる体制づくりを進めます。

また、新しい生活様式に留意しながら、誰もが気軽に集え、多様なつながりを育む地域の居場所である「まちのひろば」の創出など、「市民創発」によるまちづくりに向けて取り組み、「安心のふるさとづくり」を皆様と共に進めていきたいと思います。

こうした取組を支える「力強い産業都市づくり」として、一層加速する社会経済状況や産業構造の変化に適切に対応するため、川崎臨海部における投資促進制度の創設などにより、産業の活性化や新産業の創出を図っていきます。あわせて、鷺沼駅周辺再編整備に伴う宮前区役所・市民館・図書館の移転や、横浜市営地下鉄3号線の新百合ヶ丘駅への延伸に向けた取組など、魅力ある都市づくりを進めます。

これらの取組とあわせて、将来世代が安心して暮らせる環境を未来に引き継いでいくため、二〇五〇年のCO₂排出量実質ゼロをめざす「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」のもと、市民・事業者・団体等の皆様と力を合わせ、脱炭素社会の実現に向けた取組を進めていきます。「SDGs未来都市」として「成長」と「成熟」の調和する「最幸のまち かわさき」をめざして取り組んでまいりますので、引き続き、御協力をお願いいたします。



新年のごあいさつ

相模原市長 本村 賢太郎

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人神奈川県空調衛生工業会の皆さまにおかれましては、日頃から市政に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。貴会が推進しておられる豊かな自然を次世代に継承していくための様々な活動は、現在、本市が掲げているSDGsの理念や目標と深く共鳴するものであり、会員の皆さまによる環境負荷軽減の取り組みにつきまして、深く感謝申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大という誰もが経験したことの無い事態が起こり、今もなお、終息を見通すことができない状況が続いております。医療を始め、市民の暮らしを支える最前線で対応を続けられている方々へ改めて敬意を表するとともに、事業者の方々には、感染予防への御協力や、市の対策への御理解、御支援をいただいていることに、御礼申し上げます。

そのような中、JAXA相模原キャンパスで開発され、本市を故郷とする小惑星探査機「はやぶさ2」が、昨年12月に、6年もの歳月をかけて、3億km彼方の小惑星リュウグウから採取したサンプルを格納したカプセルを地球に帰還させるという、壮大なミッションを見事に成し遂げました。さらに次のミッションへと旅立った「はやぶさ2」の限界に挑み続ける姿は、これからも私たちに勇気を与えてくれることと思います。

さて、本年は、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、本市

は、ホストタウンとしてブラジル、カナダの選手をお迎えするとともに、自転車ロードレース競技のコースの一部が設定されます。本年5月には、オリンピックの競技コースの一部を活用して、国内最大規模の自転車ロードレース大会である「ツアー・オブ・ジャパン」が開催されますので、皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

さらに、リニア中央新幹線の駅が建設中の橋本駅周辺地区と相模原総合補給廠の一部返還地を含む相模原駅周辺地区を広域交流拠点として、一体的なまちづくりを進めているほか、老朽化が進むインフラや公共施設の長寿命化、集約・複合化等による再編・再整備に取り組んでまいりますので、皆さまの御理解・御協力をお願いいたします。

そして、市民の皆さまには、本市での暮らしに明るい未来を思い描いていただけるよう、SDGs未来都市に選定された都市としての誇りとともに、本年も、誰一人取り残さない持続可能な社会の形成や多くの方々に選ばれるまちづくりに、尽力してまいります。

また、これまで以上に本市への誇りと愛着を抱いていただけるよう、シビックプライド醸成の機運を一層高めるための取り組みも進めてまいります。

市政に対する皆さまの変わらぬ御協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして、希望に満ち溢れる一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

SDGsで「いのち輝く神奈川」を実現

神奈川県政策局SDGs推進課長 船山 竜宏

1 SDGsとは

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際社会全体の目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っており、経済、社会、環境の3分野における課題に統合的に取り組むことが求められています。



2 SDGsと「いのち輝く神奈川」

本県では、「いのち輝く神奈川」を掲げ、医療だけでなく、環境、エネルギー、農業など、生活のすべてにわたって安全・安心を確保し、将来に向けて持続可能な社会を実現するため、総合的に施策を連環させて展開しています。

SDGsの理念は、この「いのち輝く神奈川」の取組とまさに軌を一にするものであり、2018年6月には、これまでの先進的な取組が評価され、国から「SDGs未来都市」に全国でいち早く選定されました。

現在、横浜市、川崎市、相模原市、鎌倉市、小田原市も選定され、神奈川県内のSDGs未来都市は本県を含めた6自治体と、全国の都道府県で最多となっています。

一方、県の調査では、県民のSDGsの認知度は、現在、約35%に留まっています。2020年には、国連はSDGsの目標年次である2030年までの10年間をSDGs達成のための「行動の10年 (Decade of Action)」と位置付け、世界に向けて行動を呼びかけており、今後の各主体の行動が強く求められています。

(1) 行動に向けた取組事例の紹介

SDGsの達成のためには、県民や企業等が目標や課題を「自分事」として行動を起こしてもらう必要があります。そのため、SDGsの達成に向けた行動のヒント集となる、「SDGsアクションブックかながわ」を作成し、地域のSDGsの取組事例を分かりやすく紹介することで、SDGsの「自分事化」を促しています。

また第2弾として、SDGs達成に向けた自治体、企業、団体の垣根を超えた連携事例を紹介した「SDGsパートナーブックかながわ」も作成しました。

さらに、中小企業の皆様に向けては、SDGsの取組の進め方をわかりやすく解説した「中小企業のためのSDGsガイドブック」により、SDGsへの気づきと取組の後押しを図っています。



【事例から学ぶ中小企業のためのかながわSDGsガイドブック】

(2) 「かながわSDGsパートナー」制度

SDGsを活用して事業を展開している企業・団体を「かながわSDGsパートナー」として県が登録し、パートナーの取組事例・SDGsへの貢献を県が広く発信しています。加えて、県とパートナーが連携してSDGsの活動を行うことで、県内企業におけるSDGsの取組の裾野を広げることも目的としています。

現在、登録者数は333の企業・団体にご登録いただいております。

また、パートナー相互のビジネスの進展を目的としたミーティングも随時開催し、会員相互の交流も活発に行っていただいております。

また、「かながわSDGsアクションファンド」を設け、クラウドファンディングによる資金調達とSDGsインパクト（SDGsへの貢献）の見える化を図り、パートナーのSDGsビジネスの後押しを図ることとしています。

今後も、パートナーの裾野の拡大、交流・連携の場の提供、資金的な後押し等を通じて、SDGsアクションを後押ししていきます。



【かながわSDGsパートナーオンラインミーティング（令和2年11月27日）】

(3) SDGsアクションフェスティバル

本県は、2019年8月に世界におけるSDGs普及の推進力となっている国連機関の1つであるUNDP・国連開発計画とSDGs推進に向けた連携趣意書（SOI、Statement of Intent）を日本の自治体としては初めて締結しました。

この連携をもとに、多くの方々へのSDGsへの気づきの提供と行動の後押しとするため、自分事化につなげるトークセッションや、既に関心を持っている人に、より深い共感を得てもらい行動を加速させるシンポジウムなど「SDGsアクションフェスティバル」を本年3月26日（金）、27日（土）に開催し、SDGsアクションの拡大を図っていきます。

3 おわりに

空調衛生工事の取組は、ゴール11「住み続けられるまちづくり」という点からも、都市機能の強化、エネルギーの効率的利用ということに留まらず、地域の安全・安心、コミュニティの強化など、果たしている社会的役割は非常に大きいと認識しています。

地域のSDGsの担い手として、神奈川県空調衛生工業会及び会員の皆様の引き続きのご活躍を祈念しております。

SDG s 未来都市・横浜

環境を軸に経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現

横浜市温暖化対策統括本部 SDGs未来都市推進担当部長 畠 宏好

1. SDG s 未来都市・横浜

横浜市は、平成30年に第一期の「SDG s 未来都市」に選定され、「環境を軸に経済や文化・芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市の実現」を掲げ、地域・企業・大学など様々なステークホルダーと連携しながら、環境・経済・社会的課題の統合的解決を図る横浜型「大都市モデル」の創出を進めています。

2. SDG s とは

国連では、我々の世界を「変革する」17のゴールとして、SDG s を定義しています。SDG s を単純に語ることは乱暴ですが、あえてキーワードを挙げるとすれば、①変革、②自分事、③実践、ではないかと思います。つまり、温暖化対策を軸に「社会の変革を自分達の問題として捉えて実践する」ということです。

折しも、菅首相による2050年カーボンニュートラル宣言がなされました。さらに、2030年にSDG s の目標を達成するため「行動の10年（Decade of Action）」が昨年スタートしています。また、ESG投資の拡大などに、SDG s の推進は世界の潮流となっています。

3. 横浜市役所におけるSDG s 推進体制

本市では、市長を本部長とする「横浜市SDG s 推進本部」を設置し、全庁一丸となって取り組んでいます。特徴は、「ヨコハマSDG s デザインセンター」を設けている点です。



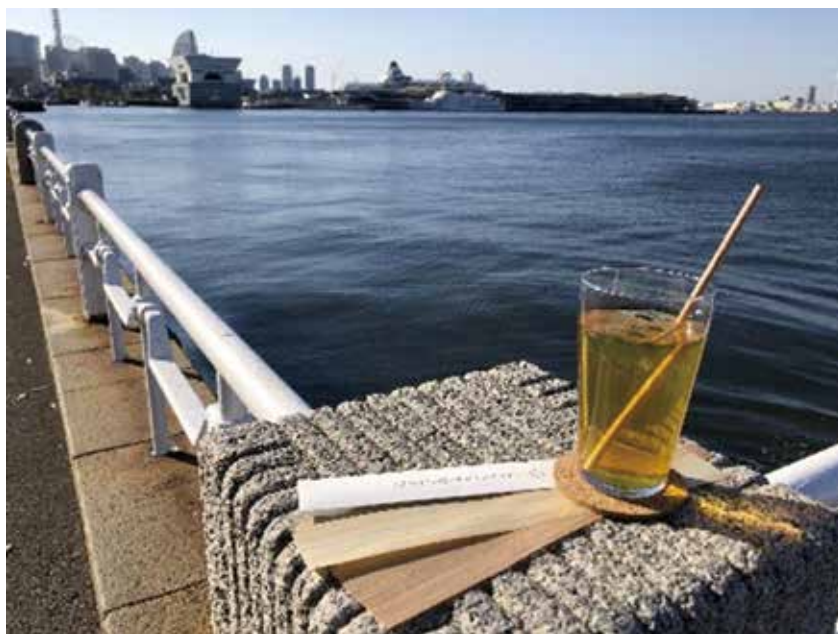
デザインセンターは、連携によって課題解決に取り組む、目的志向、実践型の中間支援組織です。地域課題等の「ニーズ」と企業・大学等が持つ「シーズ」をつなぎ、「横浜型大都市モデル」の創出を目指しています。→<https://www.yokohama-sdgs.jp/>

皆様も、是非、会員登録をお願いします。

4. 試行的取組（パイロットプロジェクト）

デザインセンターは、現在、16件の試行的取組を実施しています。本稿では、紙面の関係もあり、その中から1つ「ヨコハマ・ウッドストロー・プロジェクト」を紹介します。これは、デザインセンターが中心となり、アキュラホームグループの発案・協力のもと、山梨県道志村水源林の間伐材を原材料とし、市内の障害者地域作業所等が製作する木のストローです。近年、問題となっている廃プラスチックの海洋汚染対策や、障害者雇用の創出等を目的とするものですが、次のように、大変、示唆に富む取組です。

ある小学校で、このストロー作りのワークショップを開催したところ、授業後に児童の発案で学校近くのカフェで使ってもらい、使用後に回収して学校の花壇のコンポストとしてリサイクルする、という活動の広がりを見せたのです。ひとつ一つの取組は小さくとも、自分たちの問題と捉え、自ら考えて行動に移す。この連鎖を拓けていくことがSDG s の目標達成につながるのではないのでしょうか。



5. 最後に

本市では、市内外の企業の皆様のSDG s 達成に向けた取り組みを後押しするため、昨秋、「横浜市SDG s 認証制度“Y-SDGs”」をスタートさせました。

これは、皆様が具体的な活動を始める際のガイドラインとして活用いただくことに加え、今後は金融機関の投融資判断に活用いただくなど、財政面でも実用性のある制度を目指しています。第1回の認証企業、今後のスケジュール等はデザインセンター HPに掲載していますので、どうぞご覧ください。

今後とも、市民の皆様にはSDG s を実感・体感していただき、市民・事業者など多様なステークホルダーの皆様とともに、横浜の成長につながる「SDG s 未来都市・横浜」の実現を目指してまいります。

川本工業株式会社のSDGsの取組み

☆ SDGs体験学習

SDGs体験学習と題した社内研修を2019年7月に実施しました。この研修ではSDGsとは何かを理解し、社員のSDGsの認知度を向上させると共に、会社とSDGsとのつながりを探ることを目的としました。

グループワークを通じて事業活動がどのゴールに貢献するのか理解を深めることができました。



☆ 事業活動を通じた貢献（省エネルギー提案とリニューアル）

私たちの省エネルギー提案は、国の補助金事業を活用して、既存の設備を省エネルギー効果の高い高効率機器へ更新するほかに、LED照明への取替、開口部に遮熱・断熱性能の高い窓ガラスやフィルムを追加することで施設に合った総合的な省エネ・省コストの提案を行っています。

国の補助金事業の申請支援では、当社提案分で2010年から2019年の10年間で累計約3,000世帯相当のエネルギー消費量を削減することができました。

また、建物の大規模改修工事や内装リニューアル、防犯設備や防災設備など住環境改修工事を含め建築総合リニューアル事業を手掛けています。



特別養護老人ホームの省エネ改修実施 冬季に38%の省エネ効果達成

日刊建設工業新聞 2020年11月20日 掲載（抜粋）

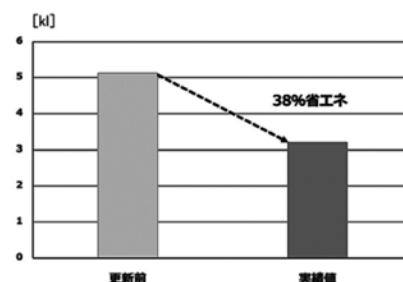
川本工業は、社会福祉法人K会の「特別養護老人ホームK荘」の省エネルギー改修を実施した。K荘は2000年に開所し、2005年に別館を開所。別館は竣工から14年が経過し、空調設備が老朽化し更新時期を迎えていた。同社は、「平成31年度エネルギー使用合理化等事業支援事業」補助金を利用して、2019年度に改修工事を行った。

更新設備は、ガスヒートポンプエアコンが屋外機7台、室内機38台、電気式パッケージエアコンが屋外機33台、室内機33台で、高効率機器への更新と運用の改善により、ガスと電気の原油換算で38%の省エネルギー効果（2月比）を達成した。

同社は、SDGsの掲げる持続可能な社会を実現するため事業を通じて貢献していく考えだ。



ガスヒートポンプエアコン



空調用エネルギー使用量比較（2月）

☆ 新しい生活様式に向けて

私たちはお客様のニーズにアンテナを高く張り、それぞれのお客様に必要なソリューションを提供しています。現在の福祉施設や病院では新型コロナウイルス感染症予防の対策に、これまで以上の取組みが求められ、その対策に悩んでいるお客様が多くいらっしゃいます。私たちは問題解決の一つとして陰圧装置による気流コントロールの他、室内のウイルスを除去するツールの提案を行っています。

施設を利用する多くの方々が安心してサービスを受けることができる環境を守っていきます。



株式会社丹野設備工業所のSDGsの取組み

当社は創業から45年あまり、創業者丹野猛の「水・空気を守り、暮らしを支える」の企業理念より、建築設備工事業及び水道土木工事業の分野から企業活動を通じて豊かな社会づくりに貢献し、社会から信頼される企業を目指してきました。

今般、当社では地域社会に対する社会貢献性向上を目指し当社の営業品目である「空調衛生設備工事業」及び「水道・土木工事業」の分野において「(SDGs) 持続可能な開発目標」を促進するべくかながわSDGsパートナーに申請し、「6 水・衛生」及び「11 都市」の分野において参加登録をさせて頂きました。

当社の主な取り組みとしては下記のとおりとなります。

1 住み続けられるまちづくり

事業所及び各作業所において営業車両や工事車両、建設機械等のアイドリングストップを徹底し、Co2等の排出ガス低減に努めます。

2 産業廃棄物のリユース・リデュース・リサイクルで地球環境を守る

事業所及び各作業所において排出される産業廃棄物の分別処理を進める事や新設する資機材においてリサイクル管材等の使用を進め、地球環境に配慮した工事施工を実施します。また社内向けに使用する書類や図面等を情報共有システムを使用し、ペーパーレス化を行うなど、環境資源の削減に寄与すべく実施しております。

3 安全な水とトイレを世界中に

地域社会の上下水道トラブルに誠実に対応し、安心して使える水道・トイレ等の住環境インフラの維持に貢献します。

4 下水道の公共下水道化を推進し、河川へ安全な水を届ける

創業当初より培ってきた技術を持ってお客様の経済性を配慮した安全・安心・高品質の公共下水道工事の施工に努め、生活排水を適切に河川へ放流できる様に促進致します。

以上の取り組みを進め、持続可能でより良い社会を共につくる企業を目指すべく邁進してきますので何卒宜しくお願い致します。



地域定期清掃活動状況

(株)オオスミにおけるSDGsの取組みについて

SDGsの目標年まで残すところあと10年と迫り、日本においてもようやく世間に認知されてきた感があります。(株)オオスミでは2017年から準備を進め、2018年よりホームページにSDGsの取組みを公開してきました。

SDGsは様々な主体が様々な手法により取組むことができますが、弊社におきましては本業を軸としてSDGsに貢献していくことを目指しております。

1 すべての人に『安全』と『安心』を

弊社では「私たちは 地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます」を使命として掲げ、将来は環境破壊や地球温暖化が過去の言葉となることを願って活動しています。

元々、工業薬品の販売から始まった会社ですが、高度経済成長に伴う公害問題という社会の要請に応える形で環境分析、調査へと業務を広げてきました。時代と共に変遷する環境問題にも対応し、最近では省エネ診断やマイクロプラスチック分析等も行っております。SDGsへの貢献という点では、従来の現況把握型業務に留まらず、顧客の課題解決により近づくため、環境セミナーを開催したり、改善提案型サービスを展開しております。

2 省エネ診断による温暖化防止と企業価値向上

改善提案型サービスの一つが省エネ診断です。工場や事業所を訪問、調査し、運用面、設備面からお客様の省エネに繋がる提案をさせていただきます。地球温暖化はSDGsの17の目標の中でも特に重要な課題です。私たちの診断によって省エネを実現していただいたお客様はエネルギーの無駄が減り、コスト削減にもなります。同時に地球温暖化防止にも貢献することができます。このような環境に対する取組を公表することで、お客様自身の企業価値向上にも繋がります。結果としてお客様も環境もWIN-WINの関係になる、そのようなサービスを私たちは提供いたします。

3 再生可能なエネルギーで環境と向き合う

お客様に提案する以上、私たち自身も環境にきちんと向き合わなければならないという思いから、弊社では2020年11月から調達電力を再生可能エネルギーに100%転換し、本社の屋根に太陽光パネルを設置、発電を開始しました。

(株)オオスミは、これからもSDGsの達成に環境面から貢献し続けます。



2020年11月 本社の屋根に太陽光パネルを設置しました。

令和2年度 技術研修見学会開催 ～千葉積水工業株式会社～ 技術委員会



11月17日(火)に千葉縣市原市にある「千葉積水工業株式会社」において技術研修見学会を実施し、コロナ禍に関わらず18名の方に参加いただきました。

千葉積水工業は、1970年、現在地に工場を新設、積水化学グループの「環境・ライフラインカンパニー」部門の一員として、我々設備業者が使用する資材では出現する機会が特に多い樹脂管材を主に生産しています。

工場見学では、まず、研修施設において積水化学工業の歴史、事業概要、新商品の説明などを受けた後、2つのグループに分かれ、耐火VPの燃焼実験及び地域防災や季節に応じた観察会などにも活用されている「防災広場（災害用トイレ・充電用の太陽光発電・防災かまど・防災倉庫など）」や「実りのエリア」を見学しました。

次に、見学したソリューションセンターは、製品素材を単に展示するだけでなく、モックアップ状態にして総合的に「実せる（実物にて実体験、信頼と安心を実感の造語）」をテーマに構成されており、エスロハイパーの曲げ・水圧破壊試験、各種樹脂管材の熱伸縮試験、排水集合管の流水試験などを体験することができました。

今回の研修を通して、耐火VPの燃焼試験では製品を構成する耐火材が火災にどのように対応しているのか、樹脂管の熱伸縮試験では数種類の管材に実際に湯と水を交互に流し管の変形を目の当たりにし伸縮対策の重要性を再認識しました。

また、グループでは「設備資材のオール樹脂化」を目標にしており、金属系の設備資材メーカーにとっては手強い会社だとの印象を強く持ちました。

最後に、研修室で質疑応答を行い、コロナ禍のなか丁寧なご説明いただきました千葉積水工業の皆様に謝意を表し散会となりました。（技術委員会M・I記）



令和2年度「研修会（オンライン）」開催 ～これからの会社経営に重要な地域貢献と事業継続の取り組み～ 主催：研修委員会・共催：（公財）神奈川産業振興センター

12月8日(火)午後2時から当工業会で初めてのオンライン（Zoom）による研修会を開催し、約30名の方に参加いただきました。

冒頭のあいさつで、有井会長は「コロナ禍により工業会の活動が制限されたことからオンライン研修会を開催することになった経緯とともに、オンライン研修の3つのメリットとして、①会場や移動途中での感染を防止できること、②移動時間などが節約できること、③会場のキャパシティによる参加者の制限が緩和されることを挙げ、今後の工業会の研修はオンライン中心に実施すると述べました。

講演は小野寺中小企業診断士事務所の小野寺 義明氏から主に、①SDGs、CSRの具体的な取り組みについて、②BCP（事業継続計画）の必要性和具体的な事業継続力強化計画の策定について、③国や県の補助金の紹介の3点を中心に講演いただきました。

①のSDGsについては、SDGsの意義や概念、そして、できることから実践することの意義について指摘があり、②のBCPについては、計画の策定を5つのステップに分け、ステップ毎に参考となる注意点の解説がされました。

これまでは災害が起こってから収束まで比較的对応期間が短いものを想定して企業の事業継続を考えてきましたが、パンデミック（コロナ禍）を経験し、長期計画の必要性にも気づかされる有意義な研修となりました。



研修会講師
小野寺 義明 氏
小野寺中小企業
診断士事務所

神奈川産業振興センターではBCP始め各種中小企業相談支援を行っている。

横浜市建築局 横浜市公共建築工事安全パトロール 安全委員会

第50回横浜市公共建築工事安全パトロール（令和2年度）は、11月6日（金）に横浜市発注の5現場（請負数5）について、安全パトロールを実施しました。

【安全パトロール班編成、パトロール現場】

班	氏 名	会 社 名	パトロール現場
1班	駒澤 博二 名越 徳晶	川 本 工 業 (株) (株) ヨ コ レ イ	① 緑園義務教育学校整備工事 ② 長津田小学校増築工事 ③ 山下地域ケアプラザ新築工事
2班	桑田 義行 中桐 成浩	エルゴテック(株) 三 沢 電 機 (株)	① 港南公会堂及び港南土木事務所整備工事 ② 豊田中学校武道場増築その他工事

【重点目標】

① 高所作業における安全確保 (足場等からの転落落下防止措置、危険箇所における墜落制止用器具の取組み状況、足場の点検状況)
② 揚重機器の安全措置
③ 仮設電気設備の安全対策

上記3項目を重点目標とし、安全パトロールチェックリストをもとにパトロールを実施致しました。パトロール対象現場の平均出来高は37.2%（令和元年度52.3%）で、平均請負金額は15,157万円/件（令和元年度16,792万円/件）という状況でした。

パトロール点検項目は、29項目/現場（令和元年度28項目/現場）で昨年と同等の状況でした。また、今年度パトロール対象の5現場（請負数5）のうち、空調設備工事と衛生設備工事が同一発注されている現場が4件（内JV1）、衛生設備工事が1件という状況でした。

5請負のうち、当日4現場で設備作業員が入場し作業を行っており、パトロールで数か所の作業を確認しましたが、2Mを超える脚立配置が2現場でありましたので、他の安全な作業台等を優先使用し、やむを得ず使用する場合は、作業手順書等によりリスク軽減を図るよう指導しました。

KY活動については、すべての現場で作業員自身によるリスクアセスメントが実施されており、効果的なKY活動が徹底されていました。新型コロナウイルス感染症対策については、検温とマスク着用について写真等を使用し解りやすい説明書が備えられていました。

点検項目の評価としては、「A評価」「B評価」の合計比率が全体の95.2%（令和元年度96.5%）と昨年同様の高い評価であり、一部書類の不備と指摘事項はありましたが全体では安全管理に対する意識は高い状態であると判断できました。



◎ 横浜市公共建築工事安全パトロールに参加して

安全委員会委員
川本工業株式会社 駒澤博二

令和2年11月6日(金)横浜市建築局、(一社)横浜建設業協会、(一社)横浜市電設協会と当神奈川県空調衛生工業会による合同安全パトロールが実施されました。

本年度で第50回を迎えた合同安全パトロールの工事内容については、学校関連施設が3件と公会堂および事務所整備と地域ケアプラザの2件があり、特に地域ケアプラザについては、小規模ながら意匠を凝らした木造建築であり他の施設とは施工法においても違いがありました。

また、工事金額においても4億4千万円から1千万円台まで様々ありましたが、いずれも工事の遅延はなく、順調に工事は進んでいました。

安全パトロールでの重点目標については、『高所作業における安全確保(足場等からの転落落下防止措置、危険箇所における墜落制止用器具の取組み状況、足場の点検状況)』・『揚重機器の安全確保』・『仮設電気設備の安全対策』の3点を掲げ、現場巡視と安全書類の確認を実施しました。

私は第1班のパトロールに参加し、午前1件、午後2件の計3件のパトロールを実施しました。

今回の安全パトロールでは、新型コロナウイルス感染症対策として3密を防ぐため、第1班の午前のパトロール現場であり、セレモニー会場でもある緑園義務教育学校整備工事(第1工区)の現場事務所には代表者のみ集まり、その後、建築、電気、機械に別れパトロールを開始しました。

現場の衛生空調設備工事の進捗率は55%でしたがプール棟は屋上を除きほぼ仕上がりが完了し、校舎棟も下階は仕上工事、上階は室内空調機の取



付を終えた状態でした。

高所作業車は当日使用していませんでしたが、高さ2mを超える脚立が各所に配置されているため、高所作業車等の優先使用をお願いしました。また、休憩室が喫煙場所になっているため、喫煙場所の表示と20歳未満立入禁止の表示をお願いしました。

2件目は山下地域ケアプラザ新築工事で空調衛生設備工事の進捗率は16.8%でしたが木造建築のため、機器吊込み支持が通常と異なり、作業台も2mを超える脚立による足場組となっているため、足場の特別教育受講の確認と作業手順書等によるリスク軽減措置を十分実施するよう指導しました。

3件目は長津田小学校増築工事で空調衛生設備工事の進捗率は38%で特に大きな問題はありませんでしたが、資材置場及び加工場の区画と責任者表示がない箇所があり、是正をお願いしました。

コロナ禍ではありますが、ご同行頂きました小堀委員長、五十嵐副委員長には厚く御礼申し上げます。

また、安全委員の皆様、各社現場代理人の方々、大変お疲れ様でした。



神奈川県県土整備局による神奈川県震災対策訓練行われる 安全委員会

令和2年11月16日(月)に「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定」に基づき、大規模地震発生時の迅速な拠点施設の確保に向けた自動出動及び要請出動訓練が実施されました。

神奈川県と出動協定をしている建設7団体の神奈川県建設業協会、神奈川県電業協会、神奈川県空調衛生工業会、横浜建設業協会、川崎建設業協会、川崎市空調衛生工業会及び神奈川県中小建設業協会から各会員が参加し、当工業会からは、出動会員4名（4社）が訓練に参加しました。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、現場対応は行わず、出動会員による情報受伝達訓練を行いました。

◇今年度の訓練対象施設

厚木合同庁舎・平塚合同庁舎・戸塚警察署・多摩警察署・横須賀警察署及・旭警察署

◇今回の震災訓練に参加し、ご協力をいただいた会員会社（敬称略）

(株)金子工業所、(株)川合工業所、興和工業(株)、ダイダン(株)

令和3年度安全スローガン選定結果 ～最優秀賞が令和3年度安全ポスターに採用～ 安全委員会

会員の皆様から作品を募りました令和3年度安全スローガンにつきましては、131名の方から222作品という多くの応募をいただきました。厳正な選定審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点が決定しました。

選定された作品は以下のとおりです。

【選定結果】

区 分	ス ロ ー ガ ン	会社名	氏名
最 優 秀 賞	みんなで摘み取る危険の芽 声掛け合って安全作業	(株)光電社	関野 俊治
優 秀 賞	考えよう危険予知 改めよう危険作業 皆で取組みゼロ災害	エルゴテック(株)	岩崎 暁
	その作業手順は安全ですか？ 未来の自分に問いかけて	興和工業(株)	小堀 愛

最優秀賞の作品につきましては、ポスターに採用し、スローガンの趣旨を生かしたポスターを独自に製作し、新年度当初に会員の皆様にお届けします。

また、選定された3作品につきましては、5月に予定されている表彰式で副賞を添えて表彰いたします。

定例理事会議事報告（7月・9月・10月・11月・12月）

7月定例理事会 コロナ禍により中止

9月定例理事会

令和2年9月11日(金)午後2時から第569回定例理事会が開催され、次の事項が協議され、原案どおり承認されました。

【協議事項】

1. 正会員入会申し込み（東洋水工株式会社）について
2. 令和3年新年賀詞交換会について

10月定例理事会

令和2年10月7日(水)午後2時から第570回定例理事会が開催され、次の事項が協議され、原案どおり承認されました。

【協議事項】

1. 中間決算について
2. 12月定例理事会の開催について

11月定例理事会

令和2年11月13日(金)午後2時から第571回定例理事会が開催され、次の事項が協議され、原案どおり承認されました。

【協議事項】

1. 正会員入会申し込み（神央設備株式会社）について
2. 「令和三年 年始会」実施計画(案)について

12月定例理事会

令和2年12月10日(木)午後4時から第572回定例理事会が開催され、次の事項が協議され、原案どおり承認されました。

【協議事項】

1. 「令和三年 年始会」実施要領について
2. 友誼団体等賀詞交換会の出席について

親 睦 会 報 告

◎令和2年度後期ゴルフ大会

渉外委員会主催のゴルフ大会が、令和2年10月28日(水)に横浜カントリークラブにおいて43名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優 勝 近澤 高志〔須賀工業(株)〕
準 優 勝 石田 賢治〔三沢電機(株)〕
ベスグロ賞 有井 清〔(株)ヨコレイ〕



優勝者 近澤高志氏



ゴルフ大会参加者の皆様

県立藤沢工科高等学校生徒の施設見学会

当工業会では、これまでもインターンシップの受入事業等を通じて、神奈川県立藤沢工科高等学校との連携を図ってまいりました。

令和2年度はコロナ禍の影響で多くの事業が中止を余儀なくされましたが、三機工業(株)のご協力をいただき施設見学会を実施いたしました。

1 施設見学会の概要

- (1) 日 時 : 令和2年10月19日(月) 10時～13時30分
- (2) 見学場所 : 三機テクノセンター (大和市中央林間)
- (3) 見学者 : 住環境系2年生46名 (男子40名、女子6名)

2 現場を見学して(感想)

～三機テクノセンターの施設見学で学んだこと～

(総合技術科 住環境系2年 女子)

企業として「技術(研究)」「安全(目に見える)」「体感」「体験」ということを大切にしている事がわかりました。

その中でも「安全」についての体験が一番印象的でした。通路にマネキンで作業をしている風景が作られ、間違えているところを探すエリアがありました。何気ない風景に見えましたが、いくつも禁止されていることがあると教えていただきました。またVR技術を使って30mから落ちる体験ではリアルすぎて少し気持ちが悪くなるくらいでした。

小学生の時にも一度見学をしたことがありましたが、今回は環境や空調についても学べてとてもわかりやすく、学校での勉強にも活かせると思いました。

私は放送部に所属しているのですが、1Fのテクノプラザで案内をしてくださいましたガイドの方がとても声がとおり、発声の仕方なども参考にさせていただきたいと思います。

最後に南極の水を見ること、そして触ることができて本当に貴重な体験ができました。

お忙しい中、私たちのためにこのような見学会を開催していただきまして本当にありがとうございました。



③ 学校・住環境系紹介

神奈川県立藤沢工科高等学校

住 所 〒252-0803 藤沢市今田744

電 話 0466-43-3402

学 校 長 居石 博幸

● 特色

従来の工業高校とは違い、全員が「総合技術科」として入学し、ものづくりの全般について学んでいきます。そして2年時からは、興味・関心や進路・適性に合わせて系（専門）を選択します。

系は、生産技術系・情報通信系・建築系・都市土木系・総合デザイン系、そして住環境系を設置しており、多くの専門から選択できます。

● 住環境系について

本系では設備について学び、県内では本校のみに設置されています。

授業科目としては、冷暖房などの室内の空気環境について学ぶ「空気調和設備」、水資源を利用した建物の給水、給湯、排水および消火設備などについて学ぶ「衛生・防災設備」、建物の構造や仕組みを学び、建物に必要な建築設備の役割を学ぶ「設備計画」、地球環境問題に関わる物理、化学、生物、経済、法律などを知り、環境を取り巻く問題に対応した考え方と技術者の役割について学ぶ「環境とリサイクル」といった授業で知識を、管工事・電気工事・溶接といった技術を実習で身に付けてもらいます。また校内では唯一、2年時に就業体験（インターンシップ）を必修として3日間実施しており、その他にも現場見学や外部講師による出前授業などを取り入れ、目的意識の向上に努めています。

近年では2級管工事施工管理技術検定や第二種電気工事士、二級ボイラー技士などの取得に向けて取り組む生徒が増えています。



令和2年度横浜市優良工事表彰式



横浜市の令和2年度優良工事表彰式が、令和2年11月9日(月)横浜市庁舎において開催されました。

この表彰式は、横浜市が発注した工事を優秀な成績で施工した施工会社及び現場責任者の方々に対して、その業績を顕彰するために毎年行うものであり、施工会社表彰は今回で41回目、現場責任者表彰は14回目となります。

本年度の優良工事施工会社表彰には、設備部門が16社、建築部門5社、土木・造園部門が31社の合計52社が、また、現場責任者表彰には、設備部門が12名、建築部門が5名、土木・造園部門が34名の合計51名が選ばれ、それぞれ各部門の代表者に林文子市長から、表彰状が手渡されました。

当工業会会員からは、優良工事施工会社表彰で次の2社が、また、優良工事現場責任者表彰で次の2名の方が表彰されました。

優良工事施工会社表彰〔設備部門〕

興和工業株式会社	代表者	小堀 段
株式会社ヨコレイ	代表者	有井 清

優良工事現場責任者表彰〔設備部門〕

浅野 清	(興和工業株式会社)
小堀 倫	(興和工業株式会社)

(公財)横浜市建築保全公社 令和2年度優良工事施工者表彰式

(公財)横浜市建築保全公社による令和2年度優良工事施工者表彰式が、令和2年11月27日(金)ロイヤルホールヨコハマにおいて開催されました。

この表彰式は、公共建築物の修繕工事に関わる施工者の技術及び意欲の向上を促すとともに、工事の品質及び安全性の向上を図ることを目的として特に優れた技術により工事を完成させた施工者の方を対象に毎年実施しています。

本年度の優良工事施工者表彰には、建築部門から9者、電気設備部門から8者、機械設備部門から5者が、また、優良現場代理人表彰には、建築10名、電気設備9名、機械設備9名が表彰され、当工業会会員からは、優良工事施工者表彰で次の1社が、また、優良現場代理人表彰で次の3名の方が表彰されました。

【優良工事施工者表彰】

株式会社司工事	代表取締役	清田 真弘
---------	-------	-------

【優良現場代理人表彰】

清田 真弘	(株式会社司工事)
清田 五穂也	(株式会社司工事)
田口 康幸	(株式会社ニッセツ)

神奈川県住宅営繕事務所 令和2年度優良工事等所長礼状の贈呈

神奈川県住宅営繕事務所による令和2年度優良工事等所長礼状の贈呈先として工事24者、委託業務15者が決定しました。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の観点から、贈呈式は中止となりました。

当工業会会員からは、優良工事で次の4者が贈呈されました。

株式会社神成工業
万里設備株式会社

代表取締役 石井 一成
代表取締役 木村 信哉

鹿島環境設備株式会社
株式会社ヨコレイ

代表取締役 古谷 和弘
代表取締役 有井 清

神空衛のパフレット紹介

神空衛のパフレットを作成しました。

パフレットは、ホームページに掲載しています。また、プリントアウトも可能ですので、ぜひ、ご活用ください！！



新 会 員 紹 介

《正会員》

- ・ 東洋水工株式会社（令和2年9月入会）
代表取締役社長 田中 顕輔
〒245-0051 横浜市戸塚区名瀬町2222-1
TEL 045-812-0099 FAX 045-812-0097
- ・ 神央設備株式会社（令和2年11月入会）
代表取締役 横田 生樹
〒243-0011 厚木市厚木町2-8
TEL 046-221-5729 FAX 046-221-6360

会員に関わるお知らせ

会員に関わるお知らせにつきましては、工業会ホームページに掲載の「会員名簿」をご参照下さい。



弁護士法人

萬國橋法律事務所

業務内容

- 不動産関連（明渡し、借地、借家）
- 契約
- 企業法務
- 相続関連（遺産分割・遺留分・遺言）
- その他各種法律问题ご相談ください

〒231-0002

横浜市中区海岸通4丁目18番地 空調衛生会館6階

TEL : 045-680-0260 FAX : 045-680-0269

info@bankoku-law.jp



SINKO お客様で創立70周年を迎えました。

空気をデザインする会社 **AIR DESIGN COMPANY**

空間によって、求められる空気の「質」も変わります。

多くの人が訪れる大空間では、快適に過ごせるように温度と湿度を調整し病院では、安心して治療に専念してもらうためにクリーンな空気をつくりだす。美術館では、展示物のために保存環境を整え、劇場では、音や振動にも配慮しなければならない。

だから、私たちはそこで過ごすヒトやモノに配慮しながら空気をデザインする。ひとつひとつオーダーメイドで、その場所にふさわしい、最適な空気質をつくる。心地よいと感じる「空気」があって、はじめて、そこに居たいと感じる「空間」ができる。

そう信じているから。



健康空調®

見えない恐怖から大切な空間を守るために、細菌やウイルスを除去し、クリーンな空気をつくりだします。



ヒートポンプ空調機Ⅱ

中規模ビルから工場などの大空間まで、多様な制御機能で、省エネかつ快適な環境を創造します。

新晃工業株式会社 www.sinko.co.jp

本社	Tel/06-6367-1811	大阪支社	Tel/06-6367-1801	東北営業所	Tel/022-262-7445
東京本社	Tel/03-5640-4159	名古屋支社	Tel/052-581-8661	九州営業所	Tel/092-291-8545
東京支社	Tel/03-5640-4155	札幌営業所	Tel/011-231-2947		



お問い合わせはこちら

azbil

人を中心としたオートメーション

あすみる、
アズビル。

オートメーションで未来を描く

アズビルは、計測・制御技術を通して、安心・快適の実現と地球環境に寄与してきました。これからも、お客さまに寄り添い、お客さまの現場における価値の創造により、持続可能な社会の実現に貢献します。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー 横浜支店

〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1横浜ランドマークタワー
TEL:045-224-1550 www.azbil.com/jp/

快適な温度はそのままに 空気だけを入れ替える。

後付け
設置用



全熱交換器ユニット 露出設置形

VENTILATOR

高機能換気設備

空気の入れ替えて
エアコンの熱を排出しないので

快適・省エネ

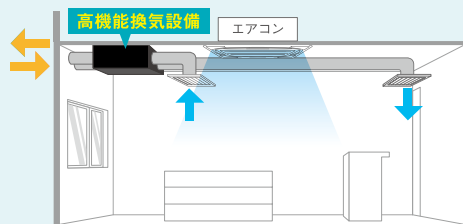
密状態(CO₂濃度)を見張って 別売品
CO₂センサー搭載時

自動で換気量アップ

パワフルな換気量
風量250m³/h

換気をしながら
室温の変化も防ぎます

虫やホコリ、
騒音の侵入を防ぎます



室内・屋外問わず柔軟に設置

室内の天井設置



軒下などの屋外設置(改装対応)



DAIKIN

ダイキンHVACソリューション東京株式会社
神奈川営業本部 (045) 225-3871

お客様総合窓口 **ダイキンコンタクトセンター**

<https://www.daikincc.com>



つくる人に最適を。
くらす未来に快適を。




kanzai 日本管機センター株式会社
管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材、国内外総合商社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀 2-24-3 PMO ビル
 TEL 03(5541)5111(大代表) FAX 03-5541-5115

配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場 3-2-4
 TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265



根岸営業本部 〒231-0836 横浜市中区根岸町1-13
 電話(045)623-1991 FAX(045)621-5249

元町事業部 〒231-0861 横浜市中区元町5-216
 電話(045)680-0218 FAX(045)651-1892

株式会社 **横滝**
 住宅設備機器と管工機材総合卸商社

業界初 スマホで楽々点検!

スマホをタッチするだけで、
給水ユニットの運転状態が、
簡単に確認できる!

フレッシュ-LINK デザイン一新!!
 搭載

モデルチェンジ! フレッシュ 3100
 直結給水ブースタンプ

F3100型 **PNAGM型**

専用アプリ **フレッシュ-LINK**
 Google Playからアプリをインストール
※Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

スマホをタッチするだけ!

株式会社 **荏原製作所**
 神奈川支店 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 1-9-1
 ☎(045) 472-0611 <http://www.ebara.co.jp/>

※「○○○型」の表示は当社の機種記号です。

高効率を追求するテラル
 テラルの新コンセプト「Triple e」による
 直結増圧給水ユニット

MC5型

機種選定・水理計算書のご用命は、弊社横浜営業所までお気軽にご相談ください。

省電力 30% 削減!
 (当社比)

【年間消費電力量比較】
 10,340 kWh (現行型MC4) vs 7,176 kWh (新型MC5)
30% Down

【計算条件】
 某マンション 総戸数111戸、地上13階建ポンプ口径50A、ポンプ出力7.5kW

軽量 32% ダウン
 最大 60kg 低減
 新 型 MC5-5050-2.2AD 125kg
 従 来 型 MC4-5050-2.2D 185kg

低振動
 防振ゴムによりポンプ振動を絶縁

静音 5dB ダウン
 騒音が最大 (当社比)

防振ゴム

テラル株式会社 横浜営業所 〒221-0031 横浜市中区新浦田町1丁目1-25 テクノウェイブ100 10F
 TEL.045-450-5351 FAX.045-450-5352

東京・大阪など全国9支店、47営業所



『全国労働衛生週間』ポスターを正会員に配付しました。
(安全委員会)

今後の行事予定

○ 第54回定時総会

日 時：令和3年5月14日(金) 午後2時～

場 所：ロイヤルホールヨコハマ

※日程等詳細は、確定次第開催通知をお送りいたします。

令和三年 年始会

1月15日(金)に予定しておりました令和三年年始会は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、中止することいたしました。

会員の皆様には引き続き感染防止にお努めください。

編集後記

2度目の緊急事態宣言の発出となった新型コロナウイルスは、会員企業の皆様の事業運営にも多くの影響を与えていることと思います。

工業会でも講演会やインターンシップによる高校生の受入れなど年度当初に予定した多くの事業が中止となり、会報も今年度は1回休止することになりました。

この第138号は通常よりページ数を増やし、特に企画記事として「SDG s」特集を掲載しました。

新型コロナウイルスへの対応は喫緊の課題ではありますが、業界の長期展望を考えると「SDG s」は避けて通れず、新春号には相応しいテーマだと考えました。

(K.S)

会 報

第138号 令和3年1月31日

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

横浜市中区海岸通4丁目18番地 TEL 045 (201) 9536 (代)

U R L: <http://www.shinkuei.or.jp> E-mail: info@shinkuei.or.jp

情報委員会 / 印刷 株式会社 ワールドフジ